

施策マネジメントシート

基本施策名	08スポーツの振興	施策 統括課	生涯学習課	氏名	井田 隆太
政策名	3文化・生涯学習・スポーツ	主な 関係課	環境政策課、保健センター担当,健康まちづくり 戦略室		

1 施策の目的と指標

① 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等
市民

② 施策の目的
市民一人ひとりがスポーツ・レクリエーションを楽しめるまちを 目指します。

③ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 人口	人
イ	
ウ	
エ	

④ 成果指標(意図の達成度の指標)数字は記入しない

名称(展開方向ごとに記載)	単位
1 ア 日常スポーツ・レクリエーションを行っている市民 の割合	%
イ 市及びくにたち文化・スポーツ振興財団が実施するス ポーツ・レクリエーション事業の参加者数	人
2 ア 市民総合体育館の利用者数	人
イ 公園スポーツ施設の利用数	1面 1時間
ウ 学校開放施設の利用者数	人
3 ア	
イ	
4 ア	
イ	

2 第2次基本計画期間(令和2～令和9年度)内における取組内容

施策の展開方向	目的	手段(具体的な取組内容)
1 多様なスポーツ機会の 提供	しょうがい・体力の有無や年齢にか かわらず、スポーツ・レクリエーショ ンを楽しむ市民を増やし、健康増 進や市民交流・コミュニティの形成 等に結びつけます。	◆地域におけるスポーツ機会の提供において中心的役割を果たしてい るくにたち文化・スポーツ振興財団や体育協会の活動を支援します。 ◆関係各課やくにたち文化・スポーツ振興財団、体育協会、市内の大学 等と協力しながら、年齢・体力に応じたスポーツ・レクエーションの機会を 提供します。 ◆東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、しょうがいし やスポーツを含め、様々なスポーツを体験する機会を提供します。 ◆地域スポーツクラブの設置・運営を支援します。
2 スポーツ環境の充実	市民が利用しやすいスポーツ環境 づくりを推進し、より市民がスポー ツに親しむための機会を提供しま す。	◆市民総合体育館や公園スポーツ施設等の利便性を向上させます。 ◆学校開放施設の設備・備品等の整備を行います。 ◆公園にユニバーサルデザインに配慮した健康器具、インクルーシブ遊 具等を設置し、気軽に遊びや運動を楽しめる環境づくりを推進します。 ◆スポーツ団体の紹介等を行うことで、市民が新しくスポーツを始めやす い環境を整えます。
3		
4		

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値、実績状況把握

			単位	数値区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度			
対象指標			ア	人	見込み値									目標達成度	
				実績値	76,282	76,423	76,278	75,816	76,163						
			イ		見込み値										
				実績値											
			ウ		見込み値										
			エ		見込み値										
				実績値											
成果指標	展開方向1	ア	%	成り行き値											
				目標値	60.5	61.0	61.5	62.0	62.5	63.0	63.5	64.0	未達成	低下	
				実績値	52.9	57.0	-	57.6	55.4						
		基本計画における指標の説明又は出典元		日常スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合 出典元: 国立市民意識調査											
		イ	人	成り行き値											
				目標値	27,250	27,500	27,750	28,000	28,250	28,500	28,750	29,000	未達成	向上	
	実績値			6,320	11,145	14,494	21,717	24,769							
	基本計画における指標の説明又は出典元		市及びくにたち文化・スポーツ振興財団が実施するスポーツ・レクリエーション事業の参加者数 出典元: くにたち文化・スポーツ振興財団事業報告												
	展開方向2	ア	人	成り行き値											
				目標値	226,250	227,500	228,750	230,000	231,250	232,500	233,750	235,000	未達成	向上	
				実績値	120,031	113,100	141,645	159,902	171,830						
		基本計画における指標の説明又は出典元		市民総合体育館の利用者数 出典元: くにたち文化・スポーツ振興財団事業報告書											
		イ	1面 1時間	成り行き値											
				目標値	42,900	42,900	42,900	42,900	42,900	42,900	42,900	42,900	未達成	低下	
	実績値			32,905	38,516	35,812	34,297	33,985							
	基本計画における指標の説明又は出典元		テニスコート・野球場・サッカー場の利用数の合計 出典元: くにたち文化スポーツ振興財団事業報告書												
	展開方向3	ウ	人	成り行き値											
				目標値	98,000	98,000	98,000	98,000	98,000	98,000	98,000	98,000	未達成	向上	
				実績値	71,649	82,848	105,030	83,839	85,480						
		基本計画における指標の説明又は出典元		学校開放施設の利用者数 出典元: 事務報告書											
		ア		成り行き値											
				目標値											
	実績値														
	展開方向4	イ		成り行き値											
目標値															
実績値															
基本計画における指標の説明又は出典元															
ア			成り行き値												
			目標値												
	実績値														
基本計画における指標の説明又は出典元															
事務事業数					本数										
施策コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円											
			都道府県支出金	千円											
			地方債	千円											
			その他	千円											
	人件費	事業費計 (A)	一般財源	千円											
			事業費計 (A)	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			延べ業務時間	時間											
			人件費計 (B)	千円											
トータルコスト(A)+(B)				千円	0	0	0	0	0	0	0	0			

4 施策の成果指標実績値に対する評価

(1) 施策全体の成果実績目標達成度 A(高度に達成)～E(ほぼ未達成)	
E: ほぼすべての目標が未達成であった	
(2) 時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上)～E(かなり低下)	
B: 成果がどちらかと言えば向上した	
(3) 上記(1)(2)の理由・背景として考えられること(数値で表せない定性的評価もあれば記載する)	
ここ数年、新型コロナウイルスの影響を受け活動が控えられていたものが、年々活動が戻りつつあり、数値が伸びたと考えられる。その一方で、他のスポーツ以外の公共施設も同様であるが、コロナ以前の利用者数までは戻っていない。 総合体育館の利用人数を過去と比較すると、「個人利用(グリーンパス)・第1・2・3体育室」「個人利用・トレーニング室の一般」「団体利用・第1・2・3体育室」「団体利用・会議室」の利用人数が特に大きく減っている。 「個人利用・トレーニング室の一般」の減は、近年、安価で24時間利用できるジムができた影響を受けていると推測される。また、以前、一橋大学などの学生利用をよく見かけていたが、最近あまり見なくなったという体育館職員の情報もあった。「団体利用・第1・2・3体育室」は利用件数以上に利用人数の減少率が大きく、1団体当たりの利用人数が減少している傾向にある。また、スポーツ大会の参加者も年々減少傾向にあることの影響もあると考えられる。「会議室」は、スポーツ大会の控室で利用されることも多く、先に述べた大会参加者の減少の影響を受けていると考えられる。また、ファミリーフェスティバルの打上げが実施されなくなった影響もあると考えられる。「個人利用(グリーンパス)・第1・2・3体育室」の減少理由は不明であるため、引き続き理由を探りたい。 また、テニスコート等、工事等により利用日数に制限が生じ、利用数が伸び悩んだ施設もあった。	

5 施策の現状 ※必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？

人生100年時代において、超高齢社会が進行し、健康寿命の延伸が命題となっている。スポーツ・レクリエーションは、生きがいづくりや健康づくりに大切であるばかりでなく、地域間交流や世代間交流の推進、地域コミュニティの活性化、地域イメージの向上などの面からも大きな役割が期待されている。2023年厚生労働省から「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」も策定された。

市では、子どもの体力の向上、成人・高齢者の健康の保持及び精神的ストレスの解消のため社会体育事業として、くにたち文化・スポーツ振興財団と連携しながらスポーツ・レクリエーションの振興に努めている。しかしながら、利用可能施設に比して、利用者が飽和状態であるのが現状である。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、利用者数が激減したが、利用者数が戻ってきた。

75歳以上の高齢者に対する保健事業を介護保険の地域支援事業等と一体的に実施することや、各高齢者の医療・健診・介護情報等を一括して把握できるようになる改正健康保険法案が令和2年度から施行されている。

令和4年に設立された総合型地域スポーツクラブ「くにたちエール」が、市民にスポーツ機会を提供してくれている。(モルック、バレーボール、体操など)

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

- ・スポーツ施設を利用したいが埋まっているため利用できないとの苦情がある。学校の校庭・体育館の稼働率は特に高い。
- ・施設予約システムの利用者登録手続きを軽減できないのかと要望がある。
- ・公園への健康器具の設置など、より多くの市民が気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを推進してほしいとの要望がある。
- ・スポーツ及び健康づくりのための運動を行う場所が不足しているとの声がある。
- ・二小の工事に伴い、グラウンド利用が制限されたり、全く使えない時期も生じるため、代替施設確保の要望がある。
- ・市営弓道場設置の要望がある。

(3) この施策に関して他自治体の取組状況と比較して国立市の取組状況はどうか？

- ・他市に比べ、体育館やグラウンド等のスポーツ施設が少ない。

(4) 施策の具体的な取組状況

6年度の取組状況	7年度の取組予定
・スポーツ子どもの日 ・ボッチャ体験教室、くにたちカップ ・ファミリーソフトボール教室 ・街を・山を歩く ・スポーツ推進委員関係(会議、研修等) ・学校開放事業(中学校体育館開放開始(一中・三中)) ・財団支援(体育館・公園施設関係) ・総合体育館第三体育室空調機設置工事 ・くにたちオリジナル体操、いきいき百歳体操における普及、継続支援 ・いい日くにたちお出かけマップ改訂及び販売 ・オリジナル体操普及動画撮影(東京女子体育大学) ・くにたち健康ポイント事業 ・LINKくにたち	・スポーツ子どもの日 ・ボッチャ体験教室、くにたちカップ ・ファミリーソフトボール教室 ・街を・山を歩く ・デフリンピック講演会・機運醸成 ・スポーツ推進委員関係(会議、研修等) ・学校開放事業(中学校体育館開放開始(二中)) ・財団支援(体育館・公園施設関係) ・国立オリジナル体操、いきいき百歳体操、青空体操における普及、継続支援 ・いい日くにたちお出かけマップ販売 ・健康ポイント事業 ・LINKくにたち ・流域下水道上部公園のテニスコート人工芝の全面張替え工事

6 6年度の評価結果 ※必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等)※基本的に展開方向ごとに記載

総合基本計画に照らして評価する(目的達成のための事務事業が適切か、事務事業の実施方法は適切か)

○成果実績 ○多様なスポーツ機会の提供 ・各種事業の実施(ボッチャ体験教室、ファミリーソフトボール教室、スポーツ子どもの日等) ・総合体育館事業(くにたちウォーキング、親子体操教室、プロスポーツ観戦デー等) ・LINKくにたち(リレーマラソン、各種スポーツ体験等) ○スポーツ環境の充実 総合体育館・公園施設の管理運営(指定管理) 学校開放事業(中学校体育館開放開始)	○改善余地のある事項・課題等 ○多様なスポーツ機会の提供及びスポーツ環境の充実 ・地域スポーツクラブ設立後の当面の運営や、市主催事業又はくにたち文化・スポーツ振興財団主催事業と重複しないような調整 ・コロナ禍でスポーツ離れしてしまった方に対する再度スポーツの習慣を取り戻せる取り組み ・東京女子体育大学等、各種機関とのさらなる連携 ・するスポーツだけでなく、スポーツを観戦することの推進
---	--

(2) 施策の6年度における総合評価

C	成果実績数値の評価(A～E)に、4(3)及び6(1)の定性的要素を加味した評価 A:目標とする成果を挙げており、社会的要請にも十分応えられている。 B:一定の成果を挙げているが、向上・改善の余地がある。 C:成果向上のため、一層の努力が求められる。 D:成果に乏しく、改善が急務である。事業の一部に見直しが必要である。 E:現状の事業では施策の目的を達成することが困難であるため、抜本的な見直しを要する。
----------	--

7 施策の課題・今後の方向性 ※必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 8年度 of 取組方針

・各種社会体育事業の実施 ・学校開放事業 ・財団支援(体育館・公園施設関係)
--

(2) 中期的な取組方針(概ね実施計画期間を想定)

・東京2020オリンピック・パラリンピック、パリ2024オリンピック・パラリンピックの流れを受け、さらなるスポーツの普及・促進 ・施設の老朽化が進む中での、施設の適切な維持管理
